

親も子も孤立しない・孤立させない

つながれ！私たち



ひがしおおさか地方創生ラウンドテーブル

2023年11月18日

文教大学客員教授

前足立区教育長 定野 司

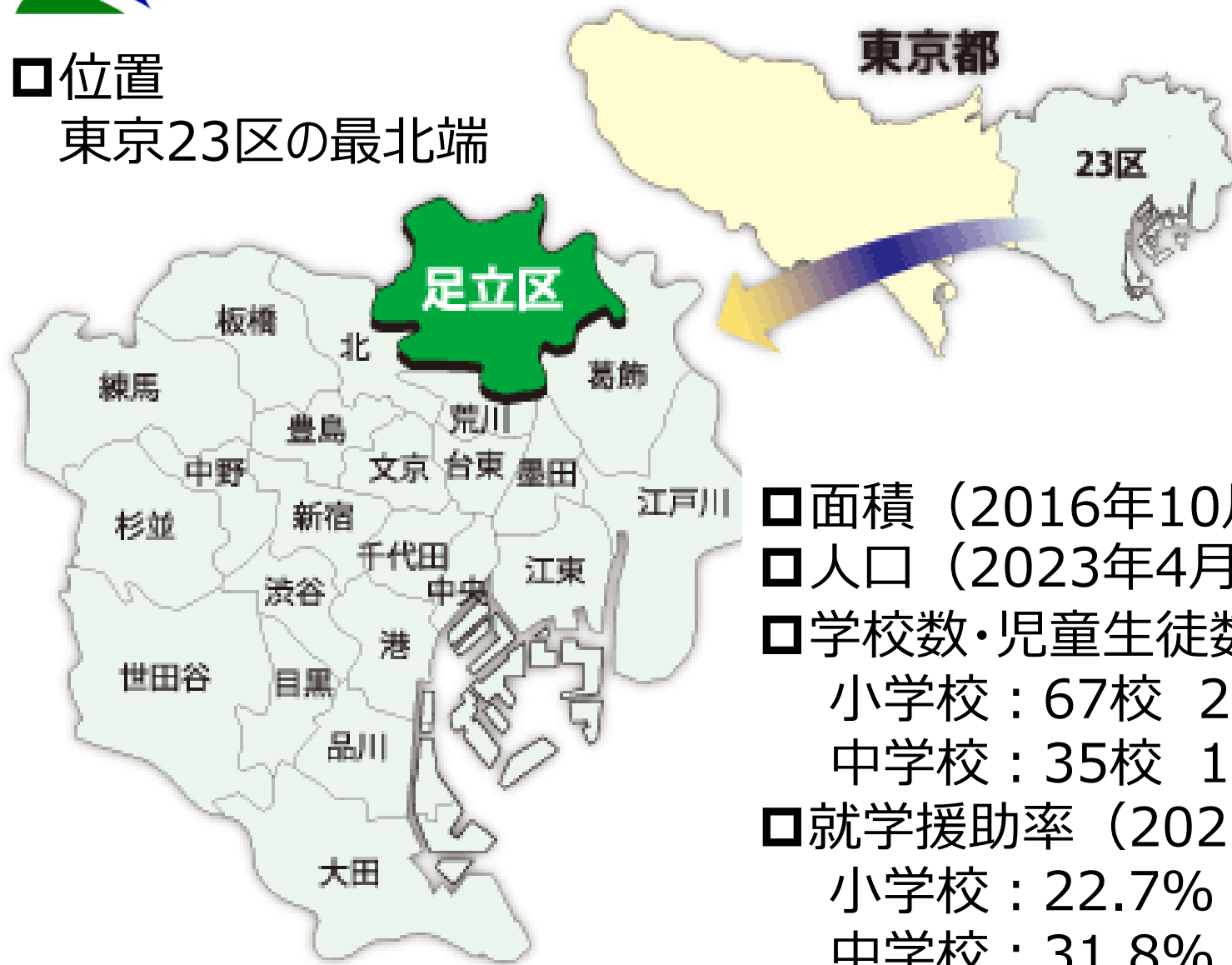




足立区の概要

□位置

東京23区の最北端



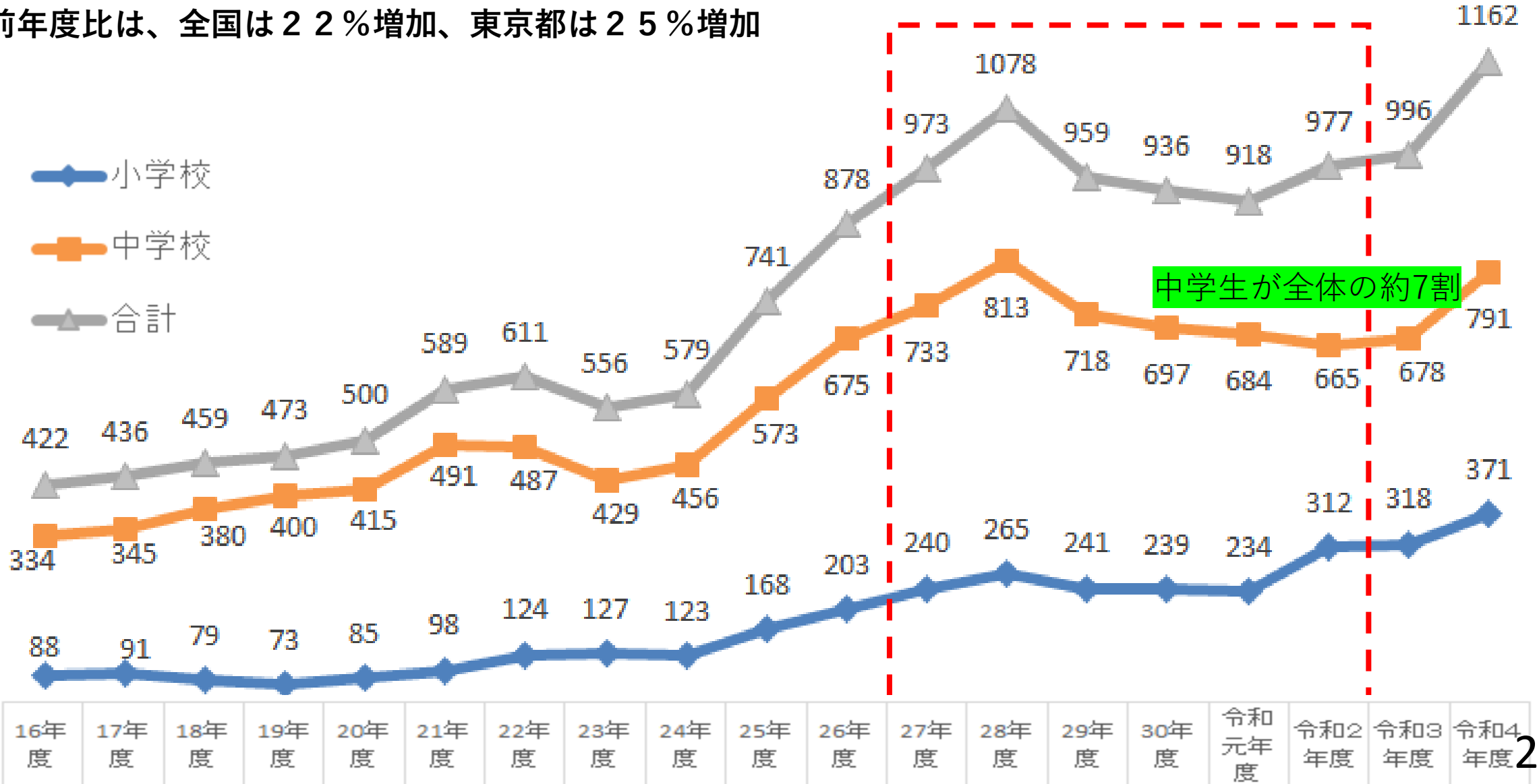
- 面積 (2016年10月1日現在) 53.25km² **61.78km²**
- 人口 (2023年4月1日現在) 691,372人 **486,464人**
- 学校数・児童生徒数 (2023年5月1日現在)
 - 小学校 : 67校 29,727人 **20,158人**
 - 中学校 : 35校 13,593人 **10,183人**
- 就学援助率 (2021年度)

小学校 : 22.7%	東京都 16.4%	26%
中学校 : 31.8%	全国 14.2%	29.8%

朱書きは東大阪市

足立区の不登校者人数の推移（足立区資料）

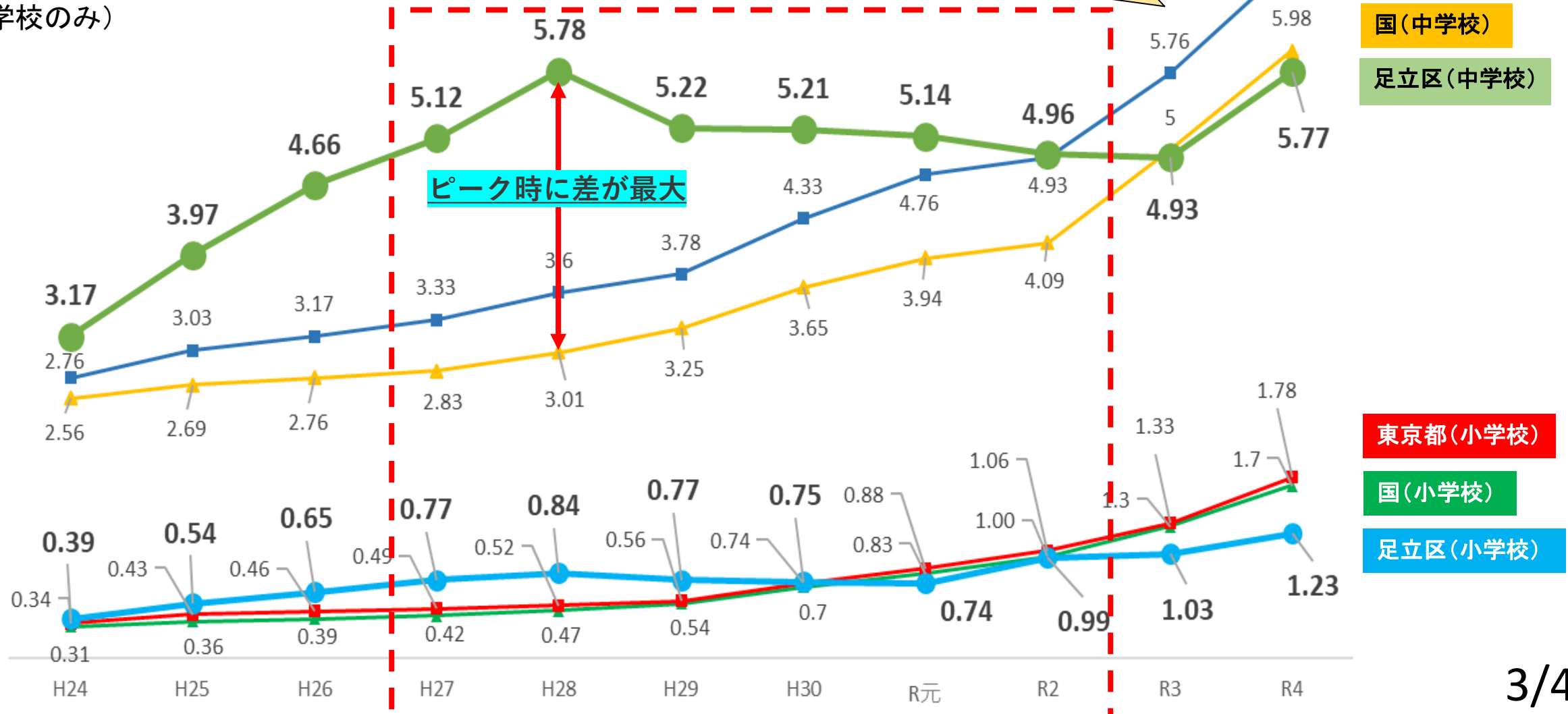
- ・ 令和4年度の小中学校の不登校数は全国29万人で過去最多
- ・ 前年度比は、全国は22%増加、東京都は25%増加



不登校者の割合の推移（足立区資料）

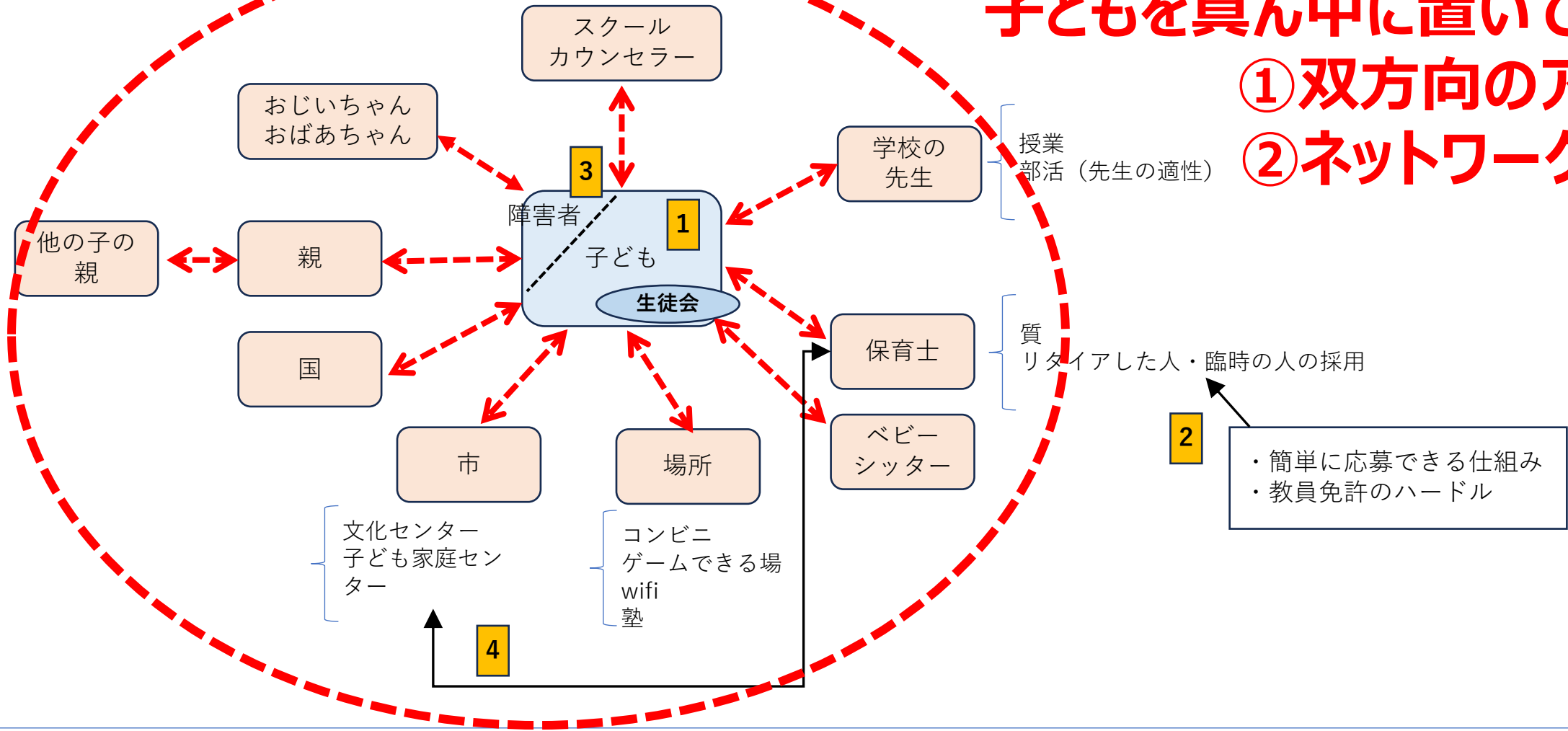
※ 不登校生徒の割合＝児童・生徒に対する不登校者の割合（東京都及び足立区は公立小中学校のみ）

R3に都の平均を下回り、R4に国の平均を下回った



子どもを真ん中に置いてみた

- ① 双方向のアクセス
- ② ネットワーク



1 自分で声をあげられない子どもとのつながり
(例：学校のタブレットにアプリ)

3 障害者と健常者（子ども・大人）のつながり

5 民間/スペース（廃校等）とのつながり（開放・活用）
(体験も促進)

2 資格がなくても子育てに参画できる仕組みを通じたつながり

4 行政同士のつながり

6 市内・市外への発信
(イメージ、アピール、民間イベント情報含む)

1 自分で声をあげられない子どもとのつながり
(例：学校のタブレットにアプリ) →

- ・相談する必要がないので見ない、知らない、興味もない
- ・相談したいときは心の余裕がなくなっている
- ★知りたくな人に届ける (シンプル、総合)

2 資格がなくても子育てに参画できる
仕組みを通じたつながり →

- ・資格がある人は登録⇒マッチング
- ・資格がない人は登録しない⇒??
- ★「時間がある人」を登録する⇒マッチング

3 障害者と健常者 (子ども・大人) のつながり →

- ・インクルーシブ教育 (関西の方が進んでいる)
- ★市内の全てのイベントをインクルーシブにする
例) 車椅子不可の会場では実施しない、補助しない

4 行政同士のつながり →

- ・既存組織の形骸化
- ★青少年問題協議会の活性化 ← ネットワークの核に?
- ★子ども・子育て会議の活性化 ←

5 民間/スペース (廃校等) との
つながり (開放・活用) (体験も促進) →

- ★サウンディング、公募などの手法を導入
- ★バーチャルな空間
- ★休息の場だけではなく、「絆」をつくれる場所

6 市内・市外への発信
(イメージ、アピール、民間イベント情報含む) →

- ★伝わっているのか、いないのか、数値目標を掲げる

電話相談窓口は恒常的に開設。今年度、ヤングケアラーの実態調査の際に
相談も受けられるWEBフォームを設けた。市WEB上の問合せフォーム
でも相談可能。府ではLINE相談を運用中。

子ども相談課

スクールヘルパーの採用、子育て支援員の認定 (子育て支援員は
保育補助等への就労可能)

学校教育部

施設指導課

青少年教育課

ふれあいのつどい (市主催イベント)、バリアフリーマラソン (補助事業)
その他民間事業者各自での取組み (ふれあいバザー、地域のお祭りで障害者が
作成した物品を販売) は一部あり

障害施策推進課

庁内関係部署間や府との連携、また連絡会等は適宜行っている。
現場での連携状況については個人の知識・力量によるところが大きく課題と認識。


子どもすこやか部

旧三ノ瀬小学校が空き校舎状態
※ドラマのロケ地として活用実績あり

市政だより (全戸配布+WEB)、Twitter、Facebook、LINE、Instagram
また市内イベント出展など各部署で一定の機会はある。

広報課、その他

子どもの健康・生活実態調査（教委と衛生部とのコラボ）



第2回 子どもの健康・生活実態調査 平成28年度 報告書【概要版】

足立区と足立区教育委員会は、全ての子どもたちが生まれ育った環境に左右されることなく、自分の将来に夢や希望が持てる地域社会の実現を目指しています。そのために「子どもの健康・生活実態調査」を実施し、子どもの健康と生活の実態把握を進めています。

この度、平成28年度に実施しました第2回調査の主な結果の概要がまとまりましたので、報告いたします。本調査にご協力いただきましてありがとうございました。本調査結果を踏まえて、子どもたちの未来につながる施策を推進してまいります。

今後とも足立区政ならびに教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

足立区長 近藤 やよい
足立区教育委員会教育長 定野 司

調査の概要

- ◇ 調査対象：【昨年度から継続実施】区立小学校に在籍する2年生（全員）
【今回から新規実施】区立小学校に在籍する4年生（一部）、6年生（一部）、
区立中学校に在籍する2年生（一部）
- ※小2は保護者のみ回答し、それ以外は保護者と子どもがそれぞれ回答。

	小2	小4	小6	中2	合計
調査票配布数	5,351	616	623	755	7,345
集計・分析対象数 (有効回答率)	4,358 (81.4%)	534 (86.7%)	530 (85.1%)	588 (77.9%)	6,010 (81.8%)

- ◇ 調査時期：平成28年10月
- ◇ 調査校数：小学校69校（一部実施学年は9校）、中学校7校
- ◇ 実施方法：無記名アンケート方式により、区が学校を通じて質問票や回答票の配付・回収を行い、国立成育医療研究センター研究所と東京医科歯科大学が結果の集計・分析を行いました。（一部、学校身体測定・歯科健診の結果を分析に用いています）

【調査対象】学年が上がるにつれてどのように変化していくかを追跡し、検証する

年度	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)
対象者 その1 (2008年生れ)	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
同じ集団を追跡することで、経時的変化及び因果関係を調べる									
対象者 その2		小4,小6 中2(一部)		小6,中2 (一部)		中2 (一部)			
他年代の実態把握及び対象者その1との比較									
対象者 その3			小1 (2010年 生まれ)		小1 (2012年 生まれ)		小1 (2014年 生まれ)		小1 (2016年 生まれ)
同じ年代を継続的に見て、政策(妊娠期支援)を評価する									

子どもの健康・生活実態調査（教委と衛生部とのコラボ）

調査の背景

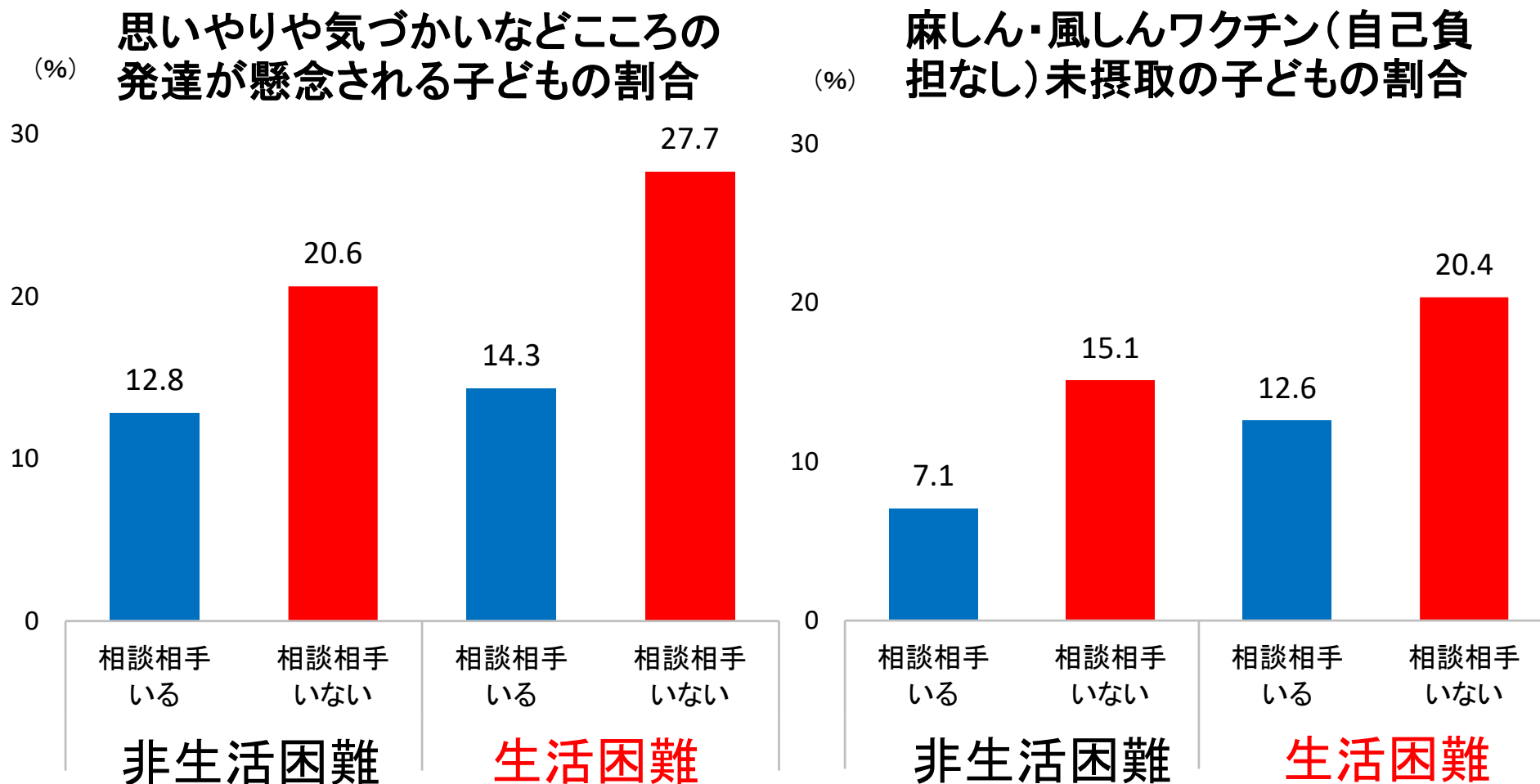
- 足立区民の健康寿命が都の平均よりも約2歳短いという健康格差がある
- 主な要因は糖尿病であり、「足立区糖尿病対策アクションプラン」を策定
- 糖尿病をはじめとする生活習慣病予防には、**子どもの頃から正しい生活習慣を身につけることが効果的**
- 国民生活基礎調査によると、現在6人に1人の子どもが貧困状態である（当時）
- 足立区では、平成27年度を「子どもの貧困対策元年」と位置づけて、「足立区子どもの貧困対策実施計画～未来へつなぐあだちプロジェクト～」を策定

子どもの健康・生活実態調査を実施

調査の目的

- ① 子どもの**健康と生活の実態**を把握すること
- ② 子どもの**健康が家庭環境や生活習慣**からどのような影響を受けているかを明らかにすること
- ③ 子どもの**健康と世帯の経済状態**にどのような関連があるか（媒介要因）を明らかにすること

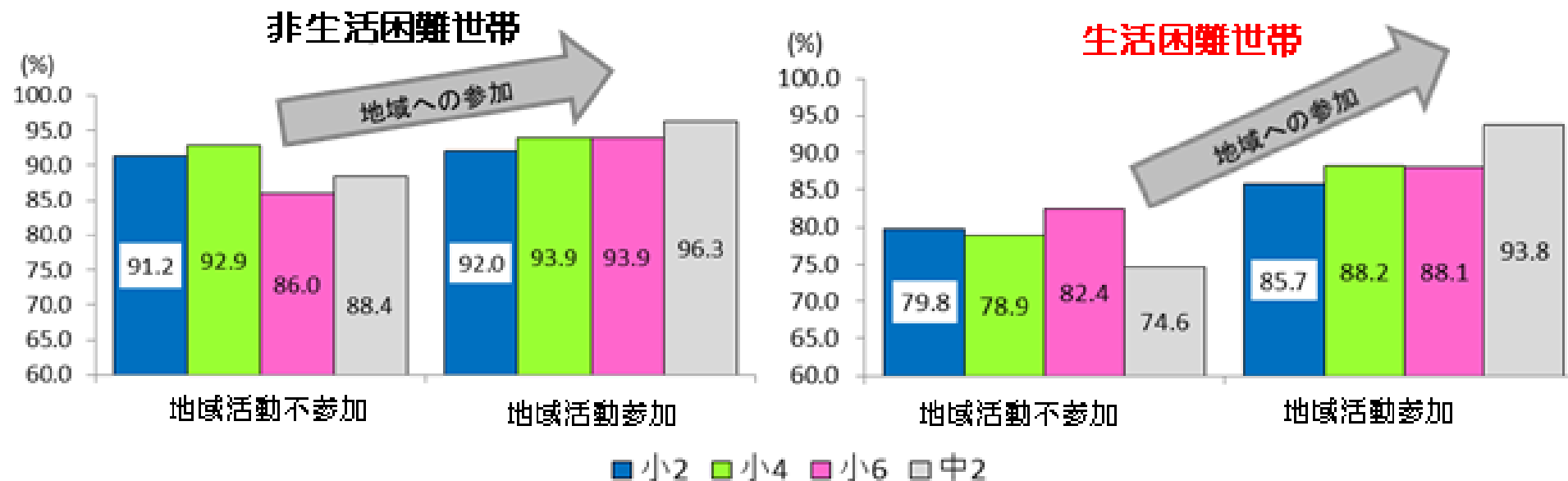
調査から見てきたこと①



保護者が困ったときに相談できる相手がいると
子どもの健康リスクが軽減する可能性がある

調査から見えてきたこと②

【逆境を乗り越える力（自己肯定感・自己制御能力など）がある子どもの割合】



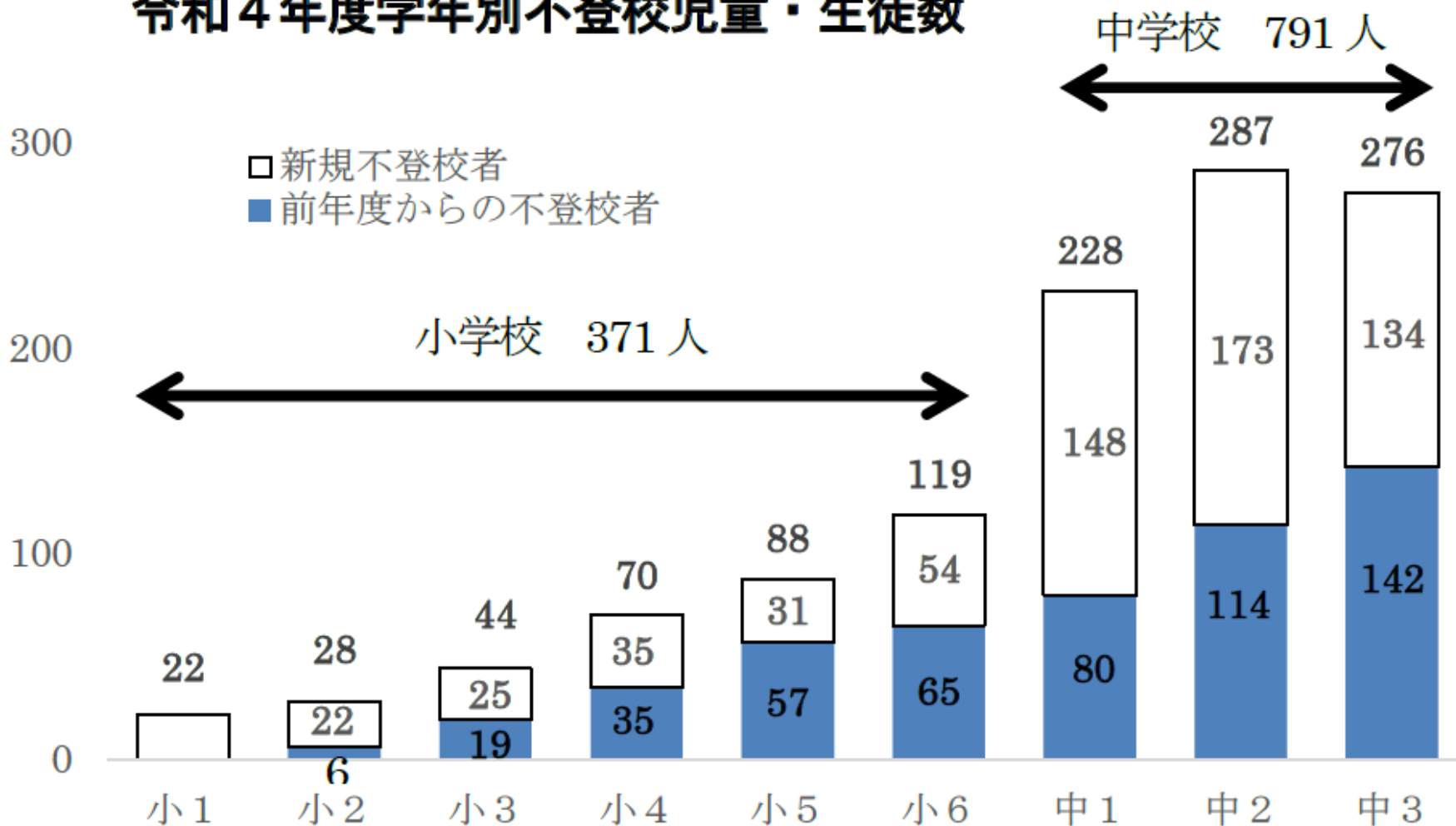
子どもが**地域活動**（近所のお祭り・子ども会・児童館等の教室など）に参加していると、**逆境を乗り越える力を培える可能性**がある
特に**生活困難世帯**で顕著

「登校しぶり」「朝食欠食」「5本以上のむし歯」などへの影響も緩和傾向にあり、高学年では「幸福度」も高くなる

こどもを真ん中に置く

不登校児童・生徒数の推移（学年別）

令和4年度学年別不登校児童・生徒数



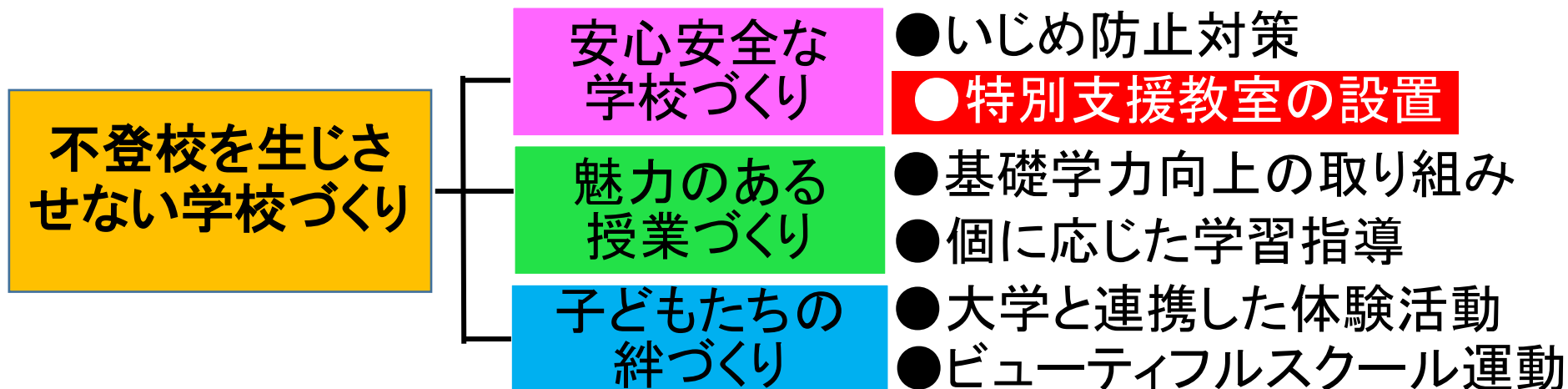
不登校児童・生徒のうち半数以上が新規不登校者である。



不登校数を減らすには、新たな不登校を抑制する、

「未然防止・早期発見」の取組が不可欠。

不登校の未然防止(学校→楽校)



欠席の早期段階での支援を構築

スクールカウンセラーの配置

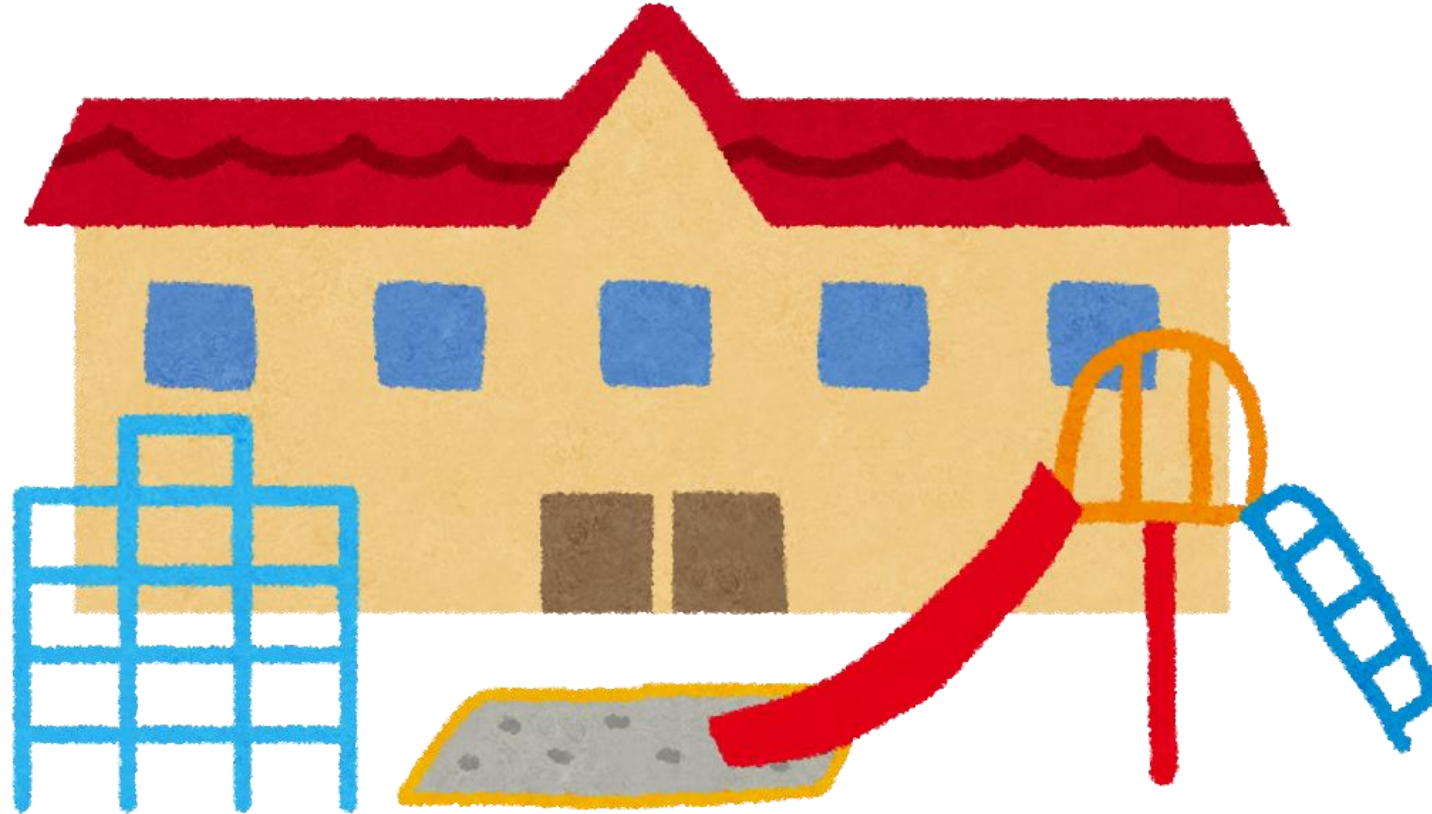
- 不登校支援重点校 (中学校5校) 週3回
- それ以外の全ての小中学校 週2回

別室登校支援

- 全中学校 (35校) で別室を設置
- 23校に登校サポーターを派遣



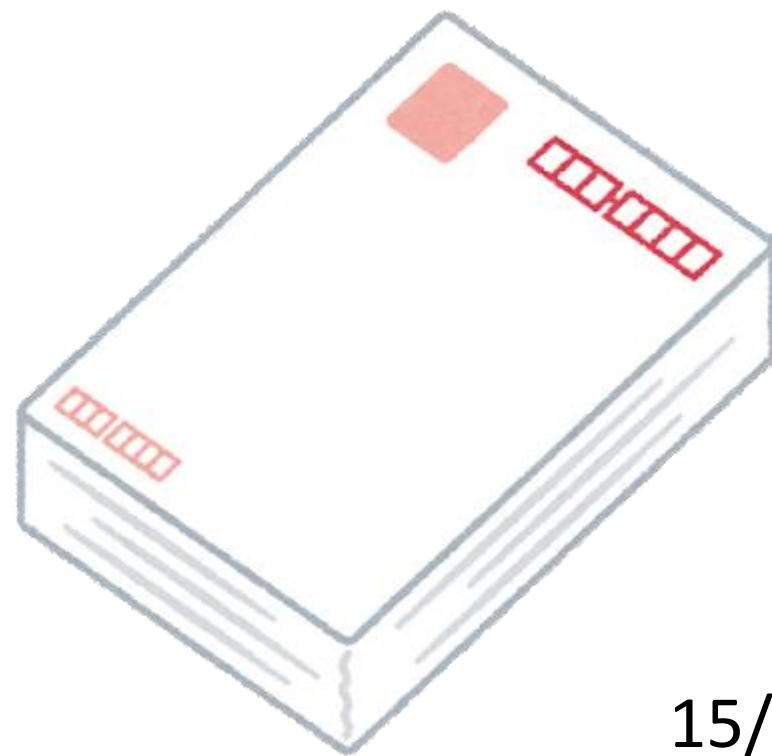
最初の失敗(4歳)



2カ月で 幼稚園中退



クラスの友達と 仲良くしなさい



子どもの悩み第2位

なぜ、運動会があるの？

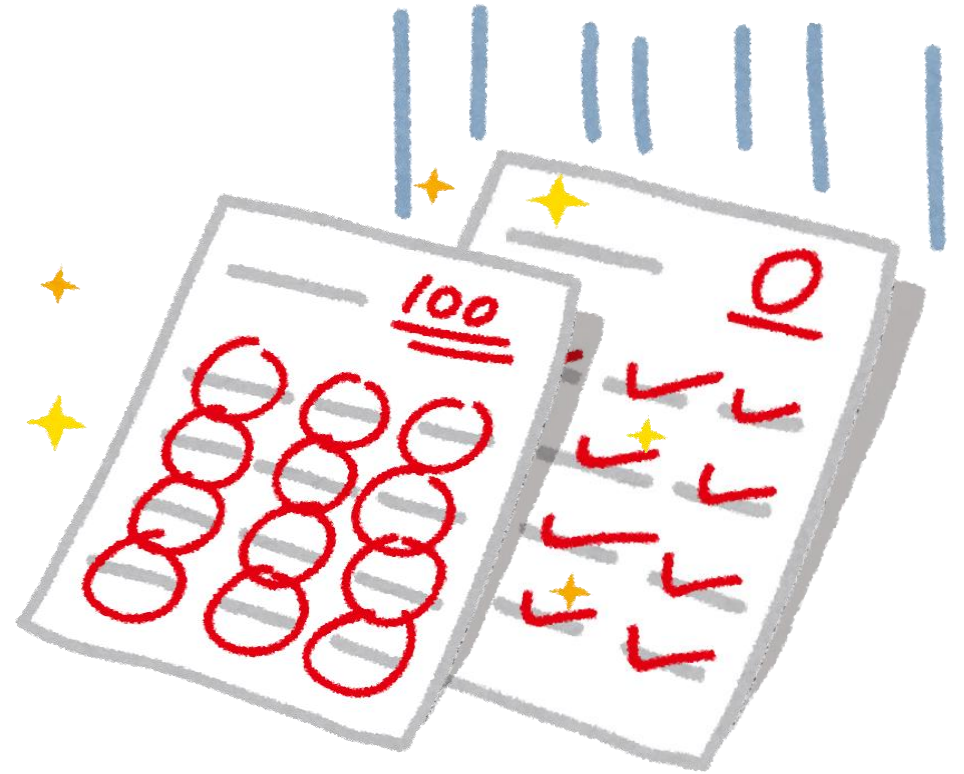
子どもの悩み第3位



どうして、逆上がりでないといけないの？

どうして、勉強するの？

子どもの悩み第1位



1 不登校支援GUIDEの作成

内容、特徴

- ◆子どもの不登校状態が把握できるようチャート化
- ◆どのような不登校支援があり、どの支援が最適かを案内
- ◆お家でお子さんにどう接すればいいのか、不登校の程度にあわせて紹介



2 不登校の子をもつ保護者懇談会の開催

内容、特徴

- ◆不登校に長年関わった臨床心理士による、不登校の考え方や子どもへの接し方等の講演
- ◆講演後は、小中学校別に個別グループ協議
- ◆悩みや不安を共有しながら、子どもに向き合うための家庭での環境づくりを学ぶ

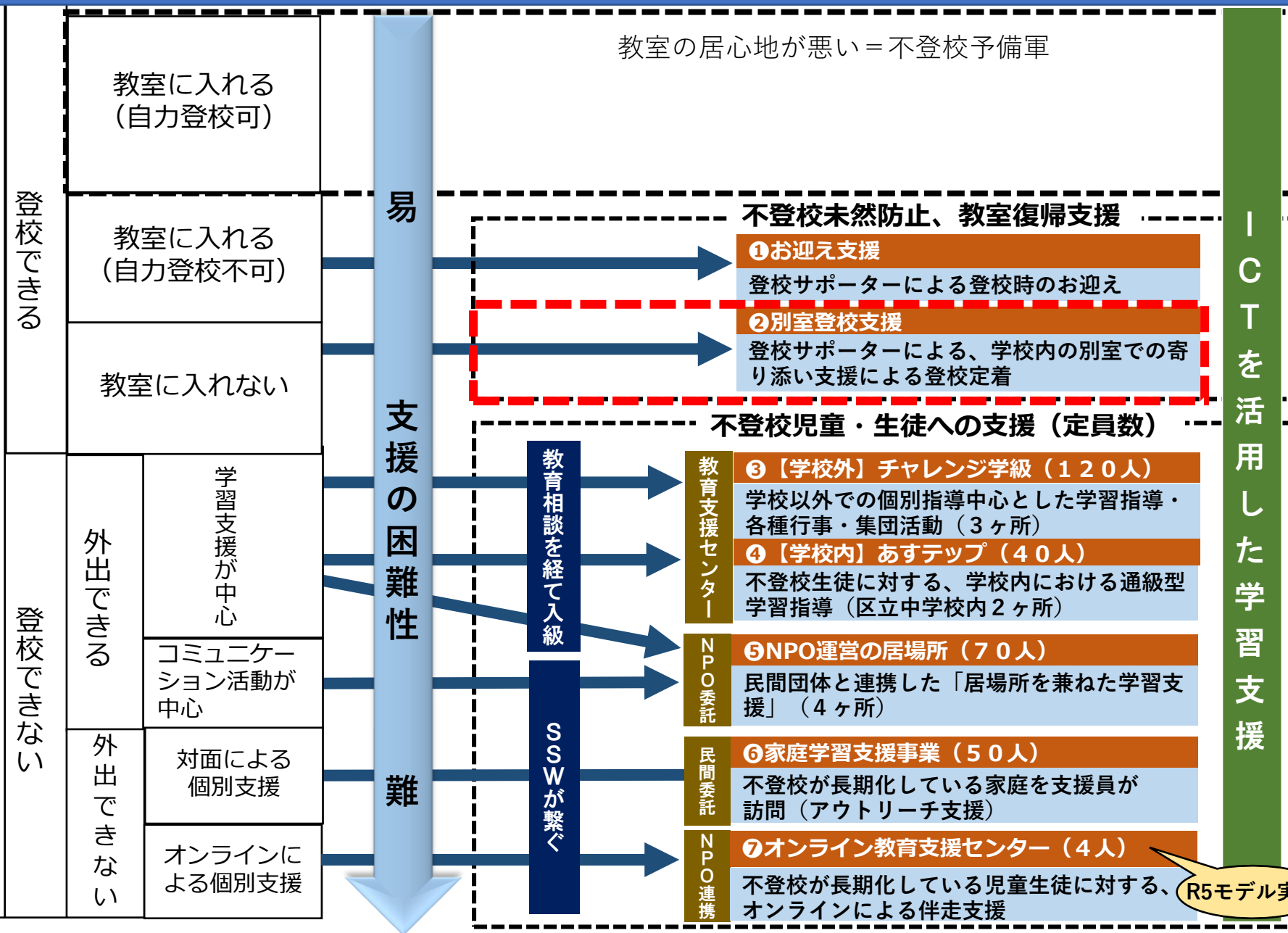
現在の足立区の不登校支援 全体図 (足立区資料)

学びにアクセスできる

子どもの状況に応じた多様な支援メニューで

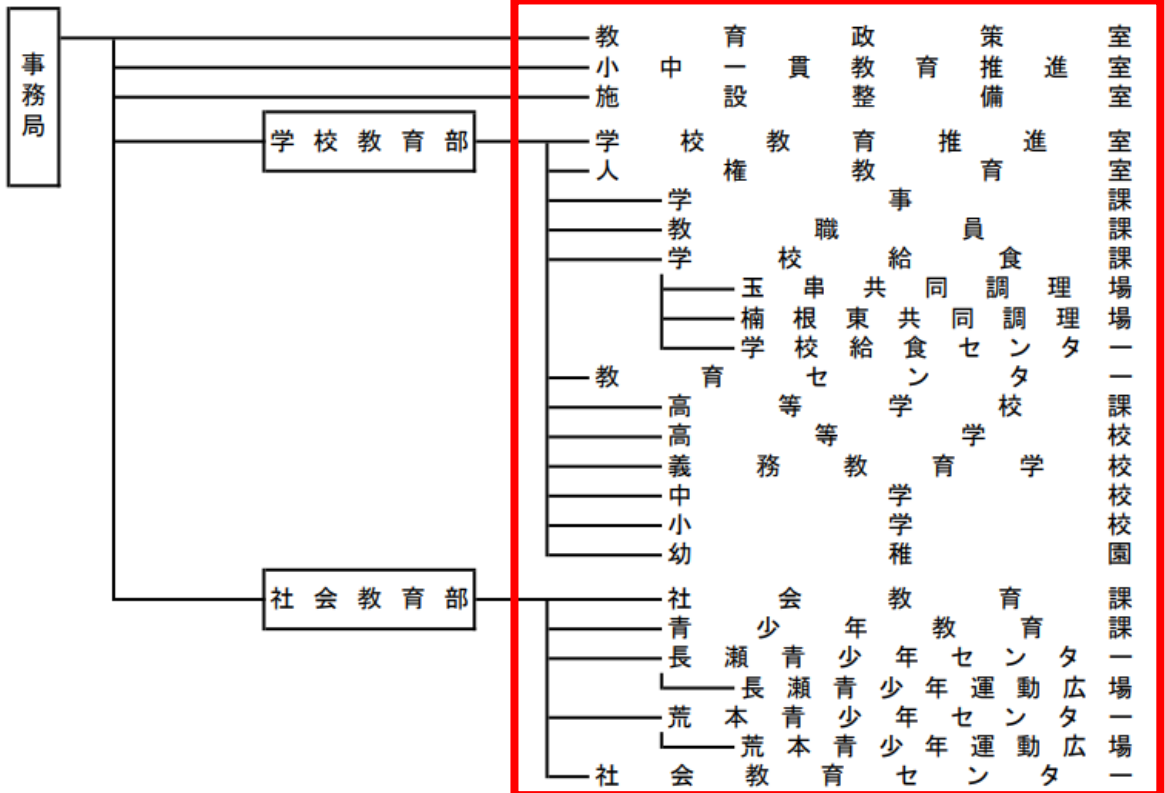
不登校 (※1) 又は登校渋り (※2)

※1 欠席が30日以上
 ※2 遅刻や欠席が増えてきた状況



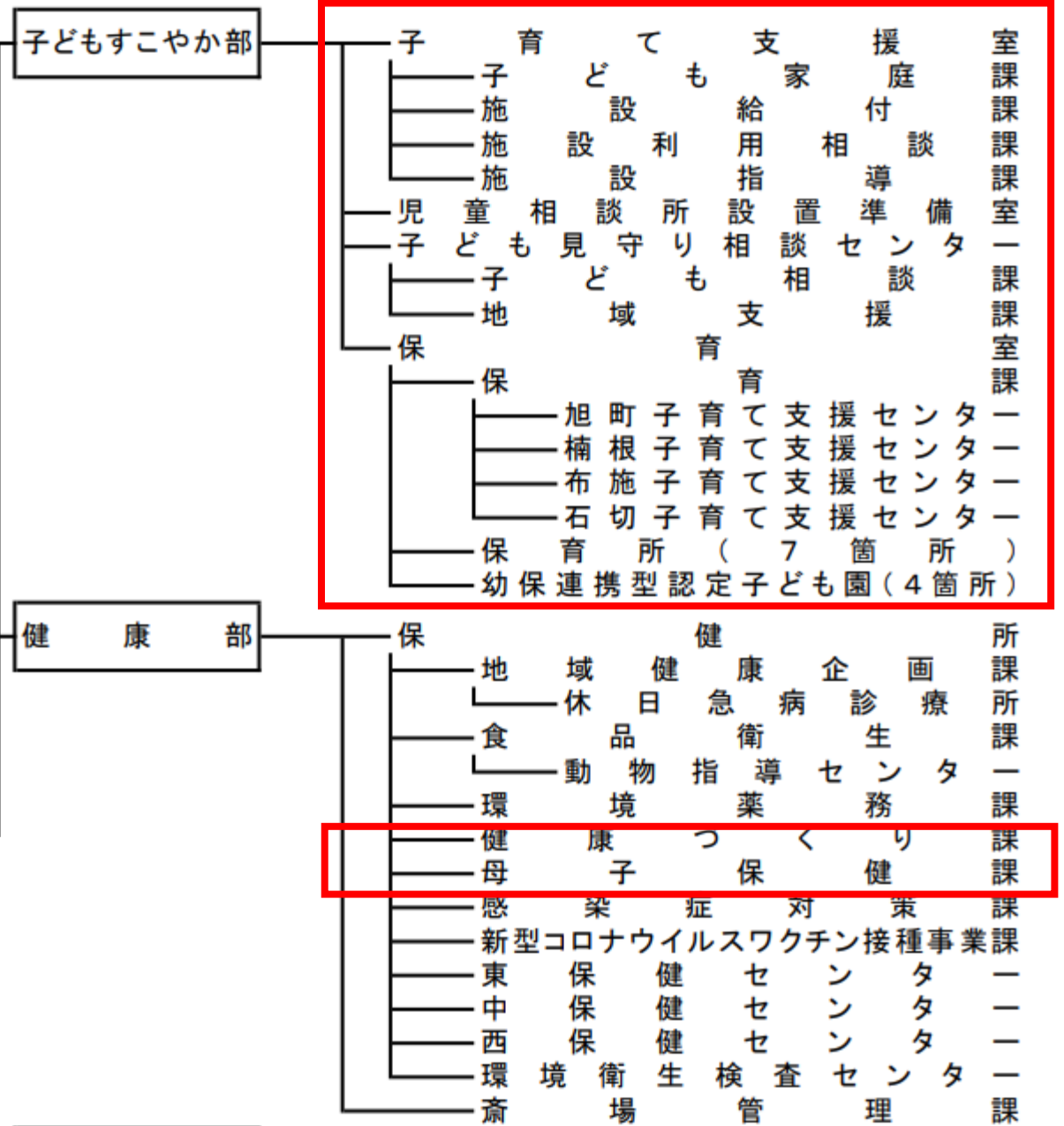
教室・学校復帰、進学、進路の選択につなぐ

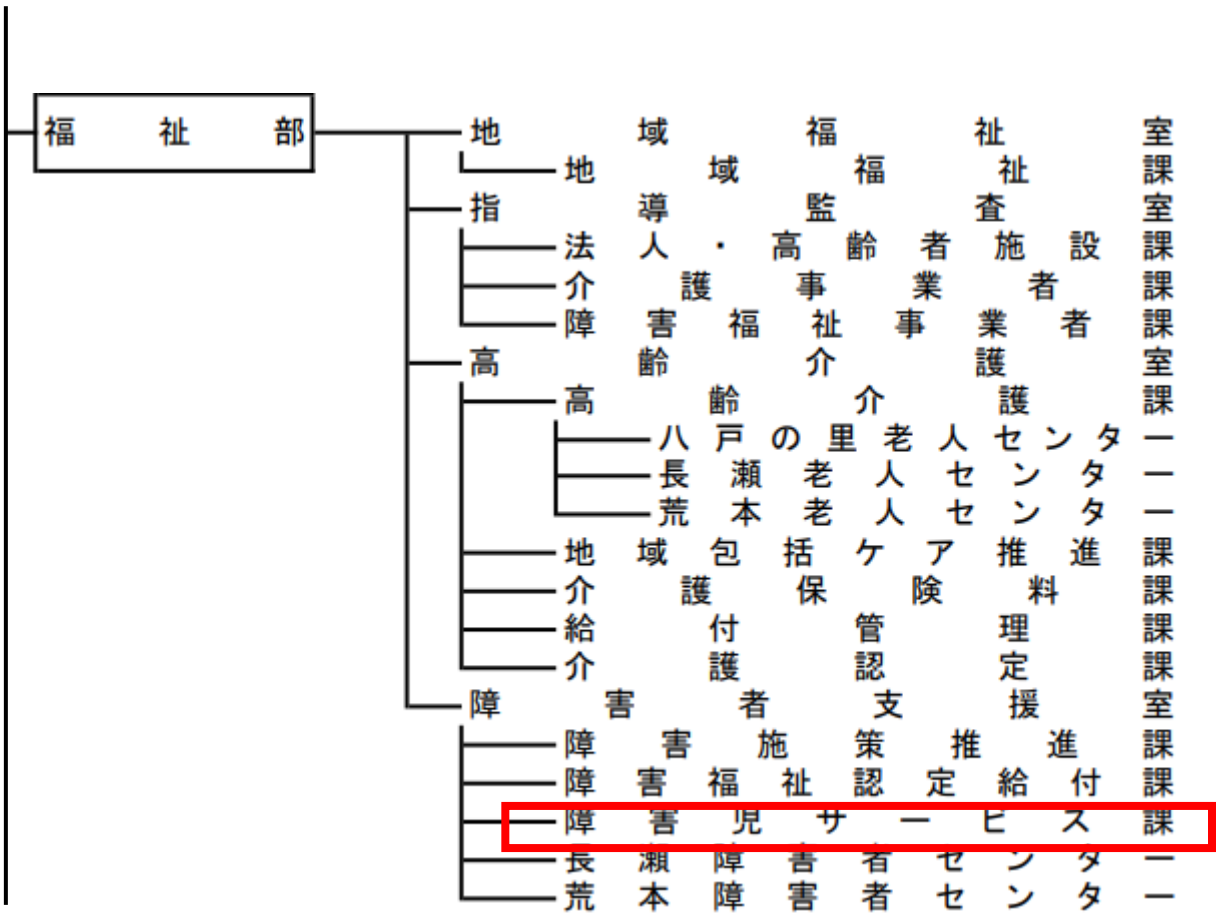
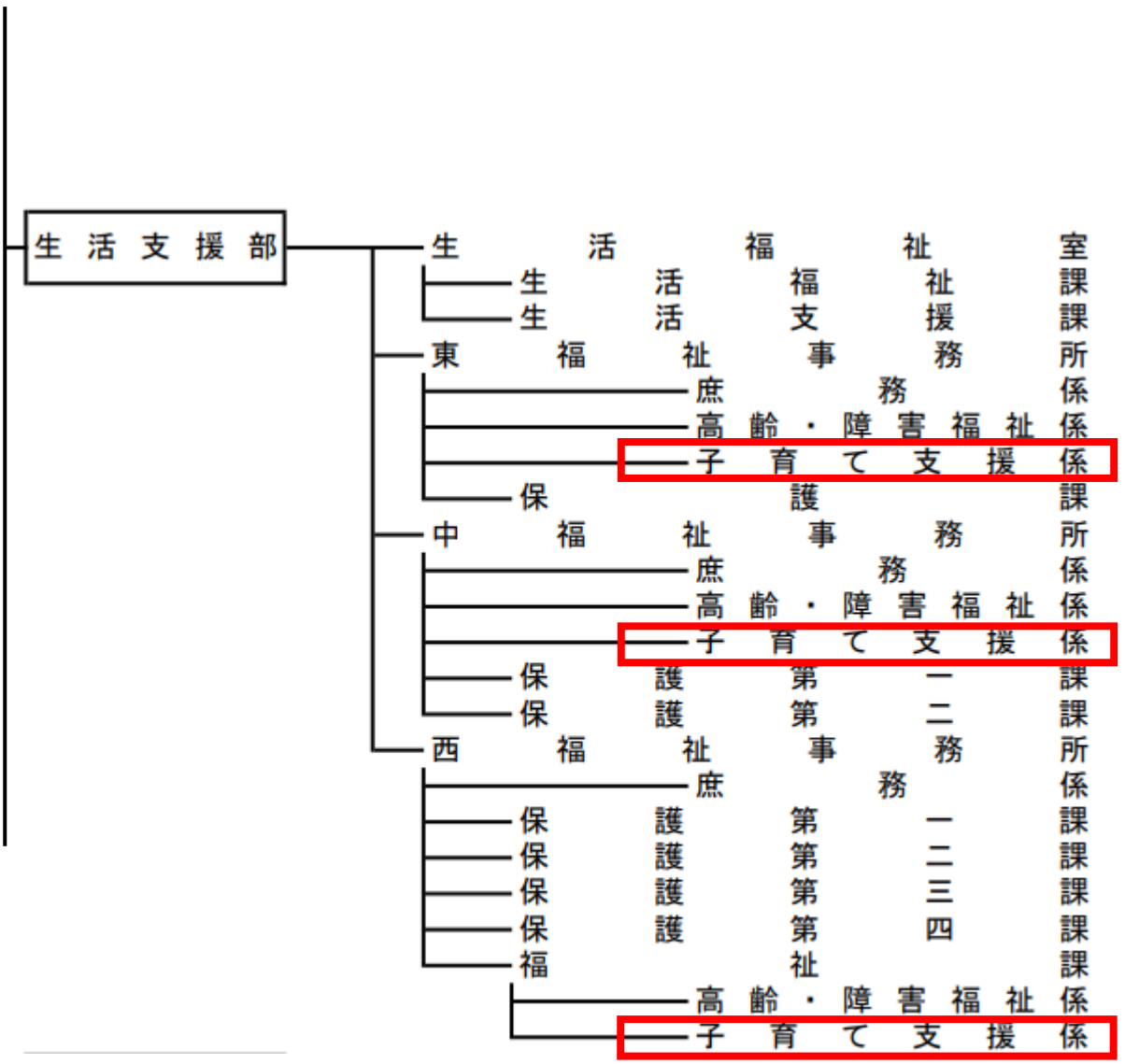
(教育委員会)



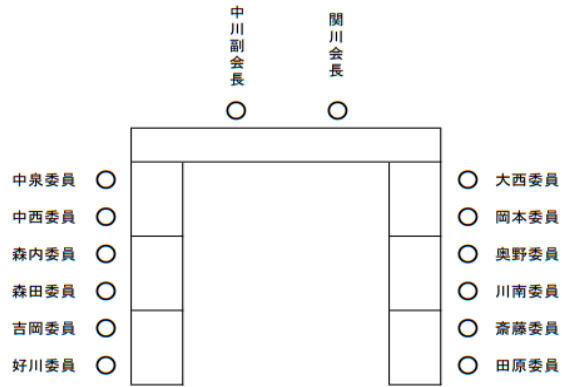
市長

副市長





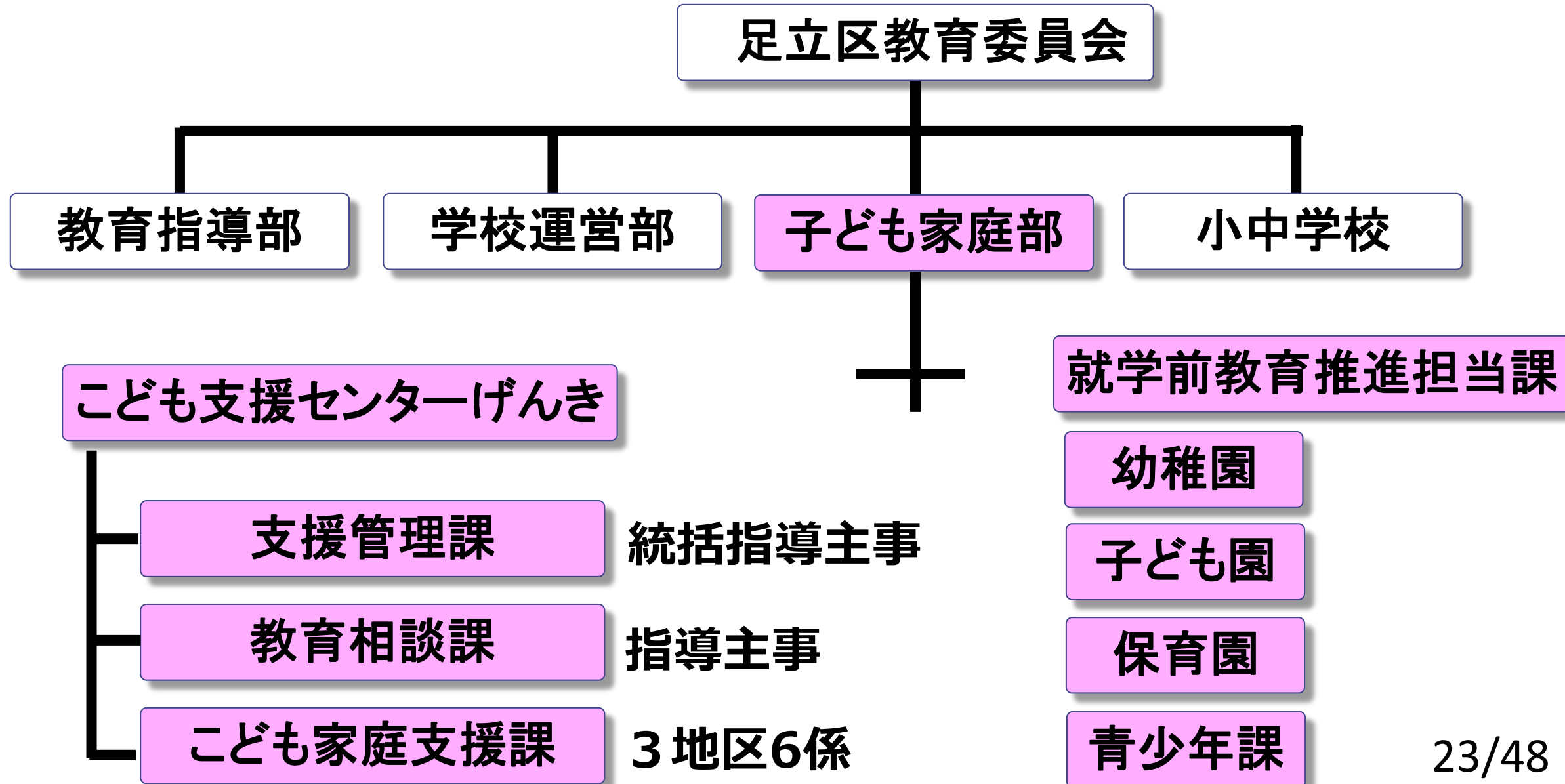
東大阪市子ども・子育て会議（第43回） 配席表



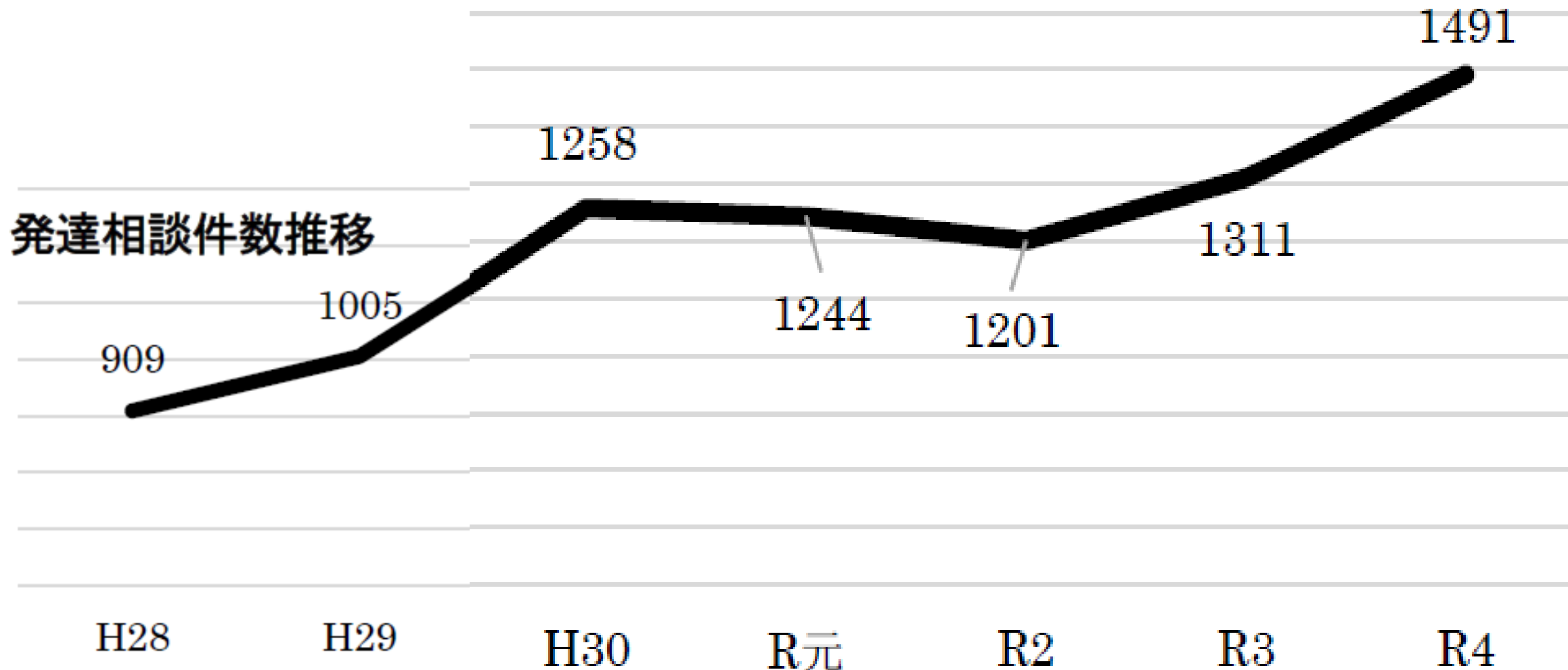
○	○	○	○	○	○	○	○
社会教育部長 望月	学校教育部長 岩本	教育次長(学校施設整備監 事務取扱) 北林	副市長 立花	子どもすこやか部長 川西	子どもすこやか部 政策推進担当官 川東	児童相談所設置 準備室長 高橋	子育て支援室長 本家
○	○	○	○	○	○	○	○
学校教育推進室次長 林	学校教育推進室長 中淵	学校教育部次長 出口	保育課長 古井	保育室長 赤穂	施設指導課長 片岡	施設利用相談課長 村田	子ども家庭課長 増井
○	○	○	○	○	○	○	○
学事課長 松本	青少年教育課長 樽井	社会教育部次長 山口	子ども相談課長 石塚	子ども見守り相談 センター所長 高品	母子保健・感染症課長 田谷	施設給付課長 浦野	

○	○	○	○	○	○	○	○
社会教育部長 望月	学校教育部長 岩本	教育次長(学校施設整備監 事務取扱) 北林	副市長 立花	子どもすこやか部長 川西	子どもすこやか部 政策推進担当官 川東	児童相談所設置 準備室長 高橋	子育て支援室長 本家
○	○	○	○	○	○	○	○
学校教育推進室次長 林	学校教育推進室長 中淵	学校教育部次長 出口	保育課長 古井	保育室長 赤穂	施設指導課長 片岡	施設利用相談課長 村田	子ども家庭課長 増井
○	○	○	○	○	○	○	○
学事課長 松本	青少年教育課長 樽井	社会教育部次長 山口	子ども相談課長 石塚	子ども見守り相談 センター所長 高品	母子保健・感染症課長 田谷	施設給付課長 浦野	

足立区教育委員会の組織



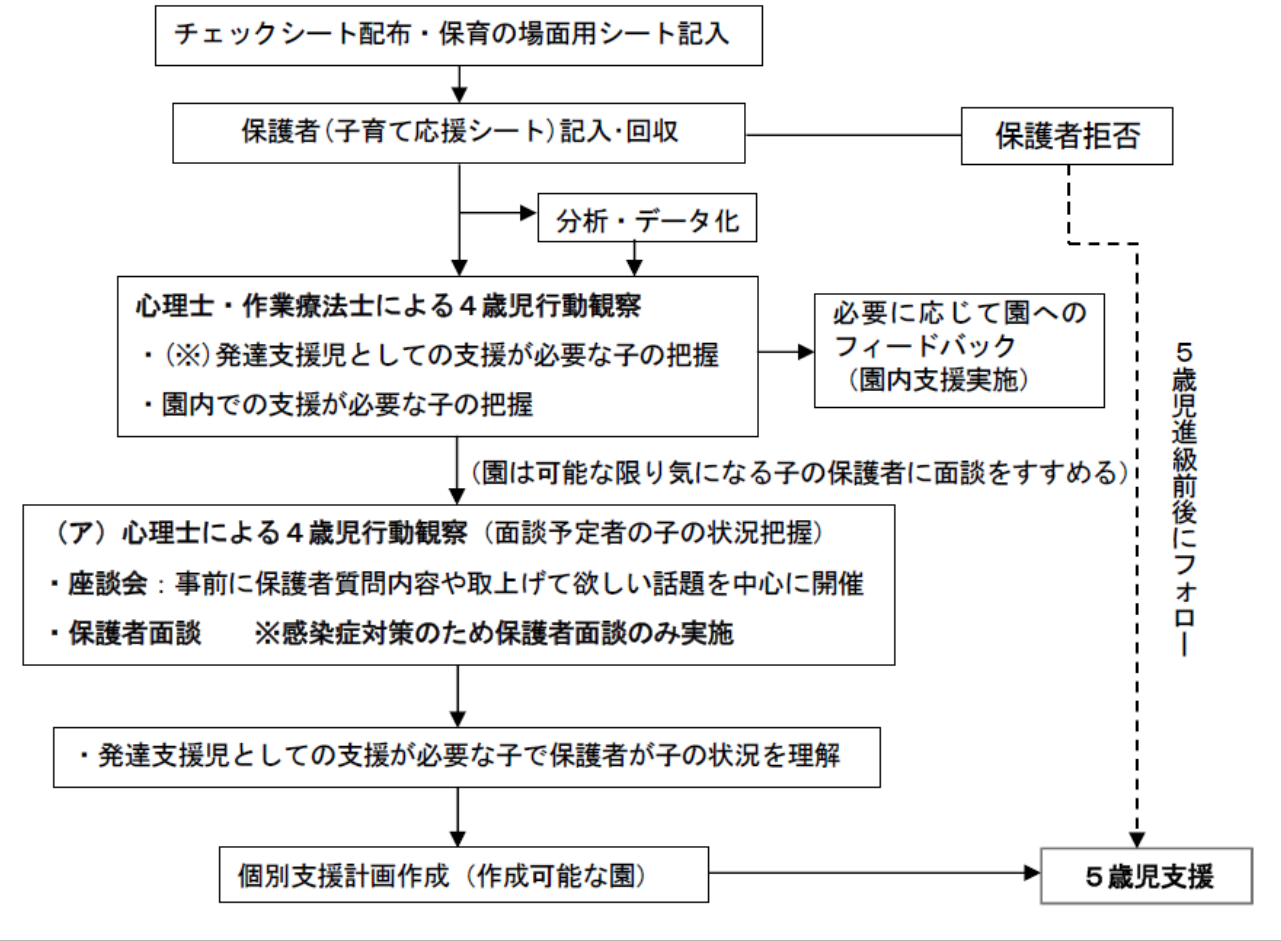
発達相談件数が増加した



保育園における 気づきのしくみ

『気づきのしくみ』

4歳児を対象に発達支援が必要な児童を早期に発見し、児童の課題を整理し、スムーズな就学と健やかな発達を支援する。



実施結果 (令和4年度)

園数(クラス数)	対象児童	(*)①~④計 気になる子(%)	① 支援児数(%)	② 支援児支援数(%)	③ 園内支援数(%)	④ 場面支援数(%)
114 園 (116 クラス)	1,941 人	1,216 人 (62.64%)	128 人 (6.59%)	138 人 (7.1%)	390 人 (20.09%)	560 人 (28.85%)

チューリップシートを全家庭で作成（足立区）

小学校入学にあたり性格や前もって小学校に知っておいて欲しい事を保護者が記入



就学予定の
小学校へ提出

就学移行プログラム
(小グループ指導)
の実施

幼稚園⇒「児童要録」

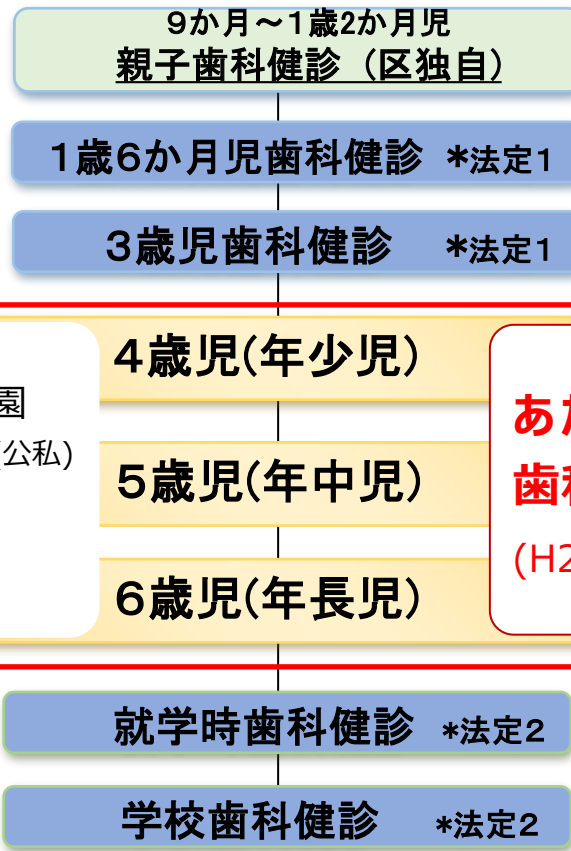
保育園⇒「園生活支援シート
(旧個別支援計画)」

あだちっ子歯科検診（衛生部とのコラボ）

あだちっ子歯科健診とは、

通園有無、幼稚園・保育施設、公立私立等の種別に関わらず、4～6歳の子どもが年1回歯科健診が受診できる **区独自の歯科健診**

＜足立区の子どもの歯科健診体系図＞



歯科健診実施基準がバラバラの時期 *3

各施設から全員分の歯科健診記録簿(コピー)を集め、データ入力

私立幼稚園
認定こども園
認可保育園(公私)
認証保育所
未通園
区外通園

**あだちっ子
歯科健診**
(H27年度～)

「あだちっ子歯科健診」は
①～③をセットに実施

- ① 帳票・歯科健診基準の統一
- ② 要医療者へのていねいな受診勧奨
- ③ 結果集計・分析・フィードバック

↓
各施設ごとに結果票を作成し、取り組みに活用

↓
0歳～15歳まで個人の結果が蓄積
歯科健診結果は保健衛生システムで管理

*法定1「1歳6か月歯科健診」「3歳児歯科健診」は母子保健法で実施
*法定2「就学時歯科健診」「学校歯科健診」は学校保健安全法で実施
*3 幼稚園:学校保健安全法、保育施設:学校保健安全法に準ずる規定、未通園児:定めなし

あだちっ子歯科検診（衛生部とのコラボ）

POINT

むし歯予防および早期の治療で健康の改善を図り、さらに子どもの貧困対策にも繋げる。

※開始6年目、年少児(4歳)～年長児(6歳)の全ての子ども対象

①統一基準の歯科健診

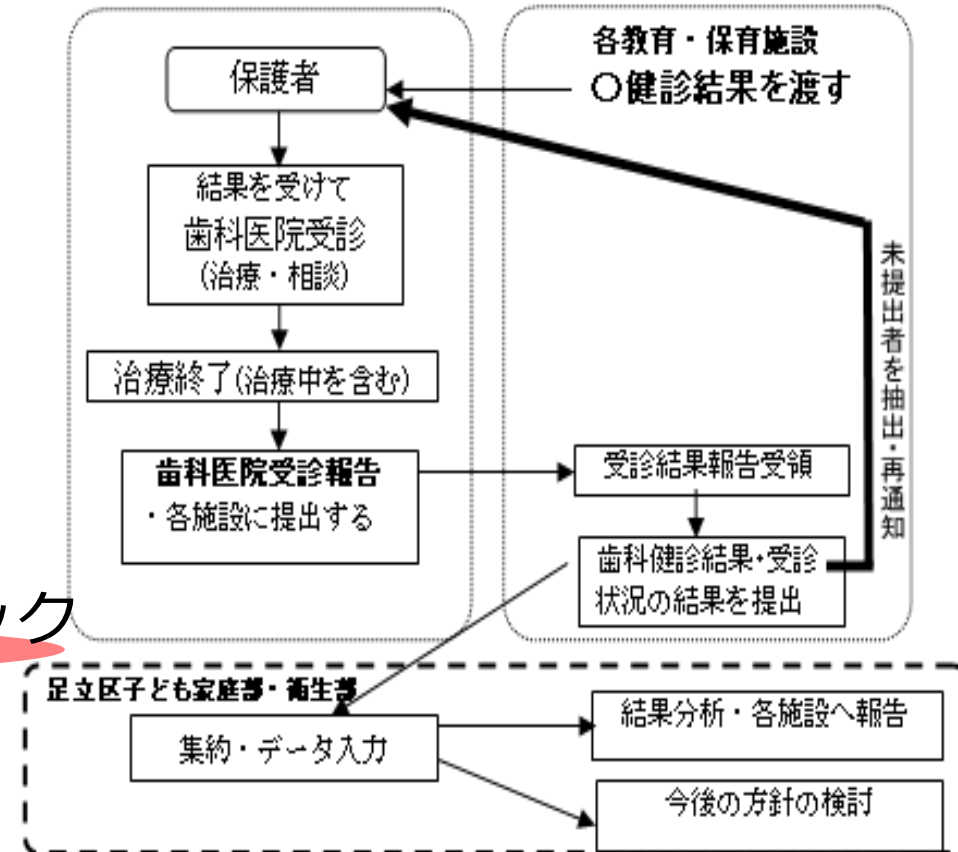
子どもの歯・口の状態を保護者に理解していただく

②丁寧な受診勧奨

歯科健診の結果、治療が必要な園児を医療機関につなげる

③結果の集計・分析・フィードバック

結果を集計し、園児の歯・口の健康状態の分析や今後の取り組みに活用する



あだちっ子歯科検診（衛生部とのコラボ）

親子で 歯医者さんに行こう！

足立区歯科医師会 協力歯科医療機関一覧

「あだちっ子歯科健診」を受ける方は、必ず
こちらの医療機関一覧の中からお選びください。



お子さんの歯医者さんをお探しの方は、
この一覧を参考にしてください。

問合せ
足立区衛生部データヘルス推進課
多世代健康データ連携担当
電話 03-3880-5601
FAX 03-3880-5602



	年少児(4歳)		年中児(5歳)		年長児(6歳)		合計(人数)		
	在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者 (R2年度)	受診者 (R2年度)	受診率 (R2年度)
私立幼稚園 認定こども園	2,170	2,130	2,408	2,365	2,622	2,589	7,200 (7,806)	7,084 (7,695)	98.4% (98.6%)
区立保育園 認定こども園	545	541	574	569	628	618	1,747 (1,828)	1,728 (1,800)	98.9% (98.5%)
公設民営保育園	295	294	305	303	311	307	911 (931)	904 (916)	99.2% (98.4%)
私立保育園	1,712	1,699	1,573	1,558	1,590	1,574	4,875 (4,619)	4,831 (4,568)	99.1% (98.9%)
認証保育所	65	65	38	38	40	40	143 (136)	143 (133)	100.0% (97.8%)
未通 園児 等	未通園児	223	54	203	35	156	582 (635)	122 (110)	21.0% (17.3%)
	区外通園児	102	13	108	19	124	334 (408)	47 (37)	14.1% (9.1%)
合計 (R2年度)	5,112 (5,272)	4,796 (4,873)	5,209 (5,517)	4,887 (5,159)	5,471 (5,574)	5,176 (5,227)	15,792 (16,363)	14,859 (15,259)	
受診率 (R2年度)		93.8% (92.4%)		93.8% (93.5%)		94.6% (93.8%)			94.1% (93.3%)

健康データ一元化のイメージ

衛生部門

保健衛生システム

妊娠届データ

乳幼児健診データ

保育園・幼稚園の健診データ

学校定期健診データ

若年者健診データ

特定健診データ

後期高齢者健診データ

教育部門


保育園・幼稚園の健診

 園から集めた
健診結果票を
区がデータ化

校務支援システム

学校定期健診データ

学校定期健診

 各校の養護教諭が
データ入力

一元化される情報

● : 「個人コード」や「世帯コード」をキーとしてデータがつながる年代と項目

	妊娠期 母親の情報	出生時	乳幼児	保育園 幼稚園	小学校	中学校	18~39 歳	40~74 歳	75歳~
身長・体重	●	●	●	●	●	●	●	● <small>社保加入者のぞく</small>	●
血液検査	●	—	—	—	—	●	●	● <small>社保加入者のぞく</small>	●
歯の状態	●	—	●	●	●	●	●	●	●

足立区に住み続ける人は、全ての情報が蓄積されていく

一元化したデータの分析（例）

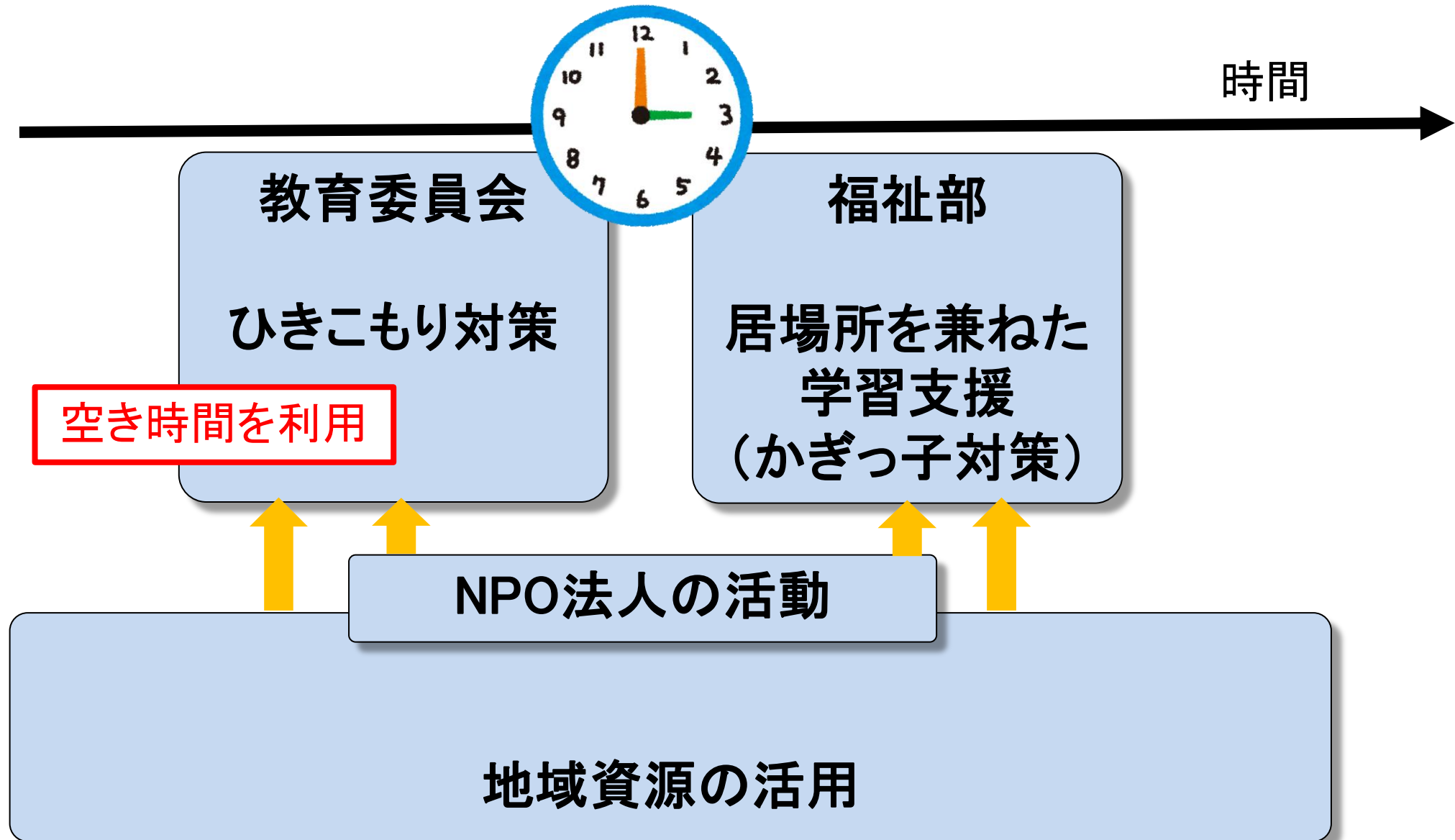
3歳児の肥満度と中学2年生の肥満度との関連

		中2の健診結果（令和元年度） N=2936		
		やせ	普通	肥満
3歳の健診結果	やせ	6人 30.0%	13人 65.0%	1人 5.0%
	普通	112人 4.0%	2423人 87.5%	233人 ①8.4%
	肥満	0人 0%	113人 76.4%	35人 ②23.6%

① 3歳で「普通」の子が、中2で「肥満」である割合 8.4%

② 3歳で「肥満」の子が、中2で「肥満」である割合 23.6%

施設のタイムシェア（福祉部とのコラボ）



子ども自身が相談（SOS）できる人・場所

そんな人いるの？

どこにあるの？

人もいるし、場所もあるけど
知られていない

相談して
良くなるの？

僕（私）にも
できるかな？

どうして知られて
いないの？

相談しやすくするには
どうしたらいいの？

どうやって
相談するの？

知ってるけど、
相談しにくい



だれでも

東大阪市子育て相談ダイヤル

0800-300-7920

子育ての悩み・18歳未満の子どもに関する相談、子どもからの相談に応じます。

ヤングケアラーに関する相談窓口

06-4309-3197

ヤングケアラーについての相談に応じます。

児童相談所虐待対応ダイヤル

189

虐待に関する通告・相談に応じます。

くるみ東大阪

06-6727-0535

ひきこもり状態にある方及びその家族等からの相談に応じます。

子どものため

こどものための相談窓口

06-4309-3197

小学生から18歳までの子どもの相談に応じます。

いじめ・悩み110番

06-6732-0110

いじり等、子どもが抱える悩みに関する電話相談に応じます。

子どもの悩み相談フリーダイヤル

0120-7285-25

子どもからの相談に応じます。

すこやかホットライン

06-6607-7361

児童・生徒からの学校生活に関する相談に応じます。

大人のため

子ども見守り相談センター

06-4309-3197・3252

子どものすこやかな成長・発達・子育て等、子どもに関わる悩みの相談に応じます。

教育センター来所相談

06-6727-0113

3歳半から概ね13歳までの子どもの養育や教育、発達に関する相談に応じます。

子どもの悩み相談

06-6720-7867

子どものすこやかな成長・発達・子育て等、子どもに関わる悩みの相談に応じます。

さわやかホットライン

06-6607-7362

保護者からの学校生活に関する相談に応じます。

専門家が待ってます！

僕の相談ってどれなの？

どうやって選ぶの？

他の人に知られたくない

相談して大丈夫？

言葉にできるか不安

どんな人が相談してくれるの？



そうだんさき なやみの相談先

でんわそうだん
電話相談

<p>なや ばん いじめ・悩み110番</p>	<p>06-6732-0110</p>	<p>げつようび きんようび ごぜん じ ごご じ ふん 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時30分</p> <p>しゅくじつ おんまつおんし がつ にち げつあつき やす 祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は休みです。</p>
<p>すこやか ホットライン</p>	<p>06-6607-7361</p>	<p>げつようび きんようび ごぜん じ ふん ごご じ ふん 月曜日～金曜日：午前9時30分～午後5時30分</p> <p>しゅくじつ おんまつおんし がつ にち げつあつき やす 祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は休みです。</p>

やかん どよう にちよう しゅくじつ そうだん とき
夜間や土曜・日曜・祝日に相談したくなくなった時は・・・

<p>きょういくそうだん すこやか教育相談24</p>	<p>0120-0-78310</p>	<p>じかんたいおう 24時間対応</p>
---------------------------------	---------------------	---------------------------



そうだん
LINE相談



LINE相談

毎週月曜日
午後5時～午後9時

入学したときに配られたカードを見て、
友だち登録してね。持っていない人は先生
に聞いてみてね。

にゅうがく くば み
入学したときに配られたカードを見て、
とも どうろく も ひと せんせい
友だち登録してね。持っていない人は先生
に聞いてみてね。

インターネットゲートキーパー事業

自殺関連語句を検索した場合（スマホでの画面イメージ）



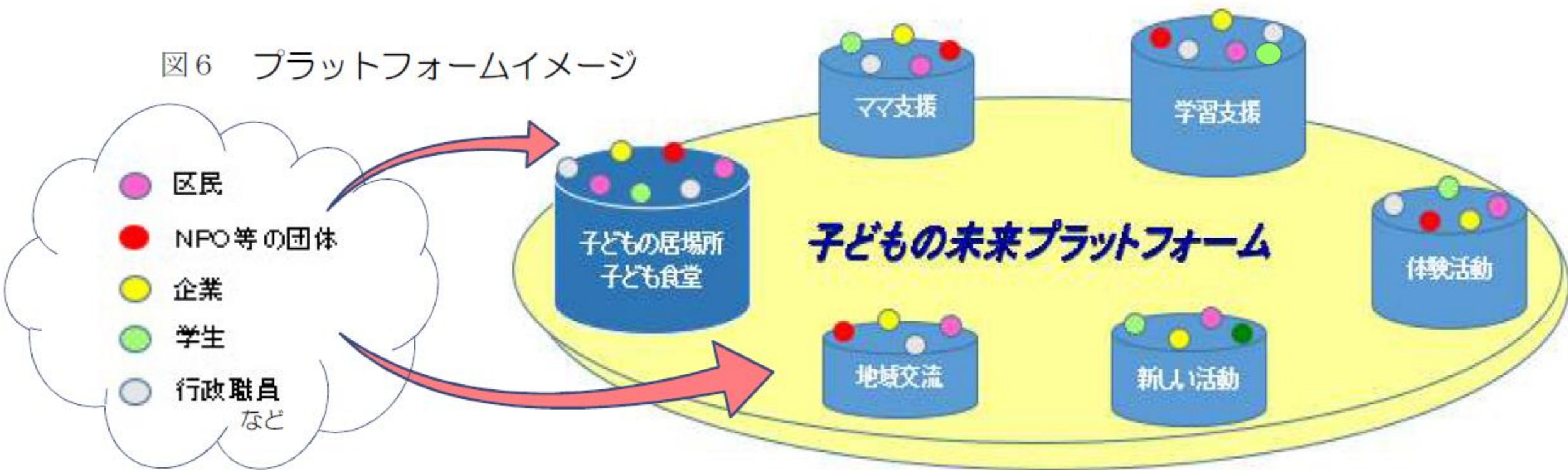
検索語句（自殺手段、リストカット、いじめ 死にたい など）に対応したメッセージを表示。



自殺を思いとどまらせ、メール相談を促す。

子どもの未来プラットフォームの活性化

図6 プラットフォームイメージ



子どもの未来プラットフォーム上に色々な活動があるイメージ



協創。 その成功の秘訣は プラットフォーム！

上のQRコードから足立区の取り組みをご覧ください。



フードパントリー 実施団体の情報連携

「食材をどこから調達するのか？」
「調達した食材をどうすれば
必要とする人に届けられるか？」など、
様々な課題を持つ実施団体がつながることで、
それぞれが持つ「特色」を活かした
課題解決方法の共有ができました。
子ども食堂でパントリーを行う団体もあり、
多様な広がりを見せています。

※フードパントリーとは、経済的困難等により、
食料支援を必要としている個人・家族に
直接、食品を提供する活動



子どもの未来 プラットフォーム

足立区では、子ども食堂や子どもの居場所等を
運営している団体が50を超えています。
一方で、活動が広がるにつれ、各団体の運営に伴う課題や
不安が生じている状況も見えてきました。
そこで、各団体が新しくつながる場や機会として
「子どもの未来プラットフォーム」を展開し、
課題解決に向けた協創の芽を育てることで、
その成果が実を結び始めました。

※プラットフォームとは、多様な主体がつながり、活躍できる場や機会

体験プログラムの 場所や機会の広がり

子どもは学校以外でも、地域での遊びなど様々な
体験を通じて学び育ちます。しかし、家族の形の変化と
ともに体験の貧困も問題となってきました。その課題解決
のために、地域で第三の大人たちが、
子どもたちに自然との触れ合いや就業体験、
プログラミング体験など、多世代が交流しながら
体験の場を創りだしています。



子ども食堂 運営団体の 連携強化

食を通じた子どもの居場所である
「子ども食堂」は、今では地域に欠かせない
存在となったものの、運営団体は食材の配送や
場所、調理人の確保など様々な悩みや課題を
抱えています。そうした情報の共有と団体同士の
連携強化を目的に交流会を行っています。



足立区
子ども食堂
MAP

未来へつなぐあたちプロジェクト



ママカフェ ネットワークづくり

「どうすれば、子育てを楽しくすることが
できるのだろう?」「孤立したママの育児を
助けたい」という想いを持ったママカフェ
運営者が集まり、子育てママの孤立予防や
スキルを活かした起業支援のノウハウ共有
等を目的にネットワークづくりを行いました。



資金調達 手法の学び

活動を持続的なものにしていくためには、
その運営を寄付やボランティアだけで賄うには
限界があります。交流会で行政や民間企業・団体が
実施している助成金などをお知らせするだけでなく、
クラウドファンディングなどで
直接資金を調達する手法も
学びました。



地縁団体との交流

子どもの未来を応援する活動には
地域との連携が欠かせません。
古くから地域に根差して活動している
町会・自治会などの地縁団体と
つながることで、活動の担い手が現れたり、
支援が必要な家庭のニーズを知ることが
できたりします。お互いに知り合い交流するようになると、
活動が充実することはもちろんですが、信頼関係が築
かれ持続可能な活動になっていきます。

※地縁団体とは町会・自治会、民生・児童委員協議会、
青少年委員会、スポーツ推進委員会など



こどもを真ん中に置く

もっと、子どもたちと
過ごす時間を
増やしたい



もっと、いい授業をする
ために、教材研究
の時間がほしい



学校以外の多様な教育機会の提供（足立区）

POINT

足立区では不登校の状況に応じた3つの居場所を設置。
福祉部・民間団体と協力・連携し、居場所が4倍に増加

居場所機能重視（集団生活に慣れる）

学習活動重視（学校に近い環境）

居場所を兼ねた学習支援
《NPO連携》
3 → 4箇所
令和3年度～

チャレンジ学級
（教育支援センター）
3箇所
学校外

あすテップ
2箇所
中学校内

教員がいない？
日本語習得のための学校

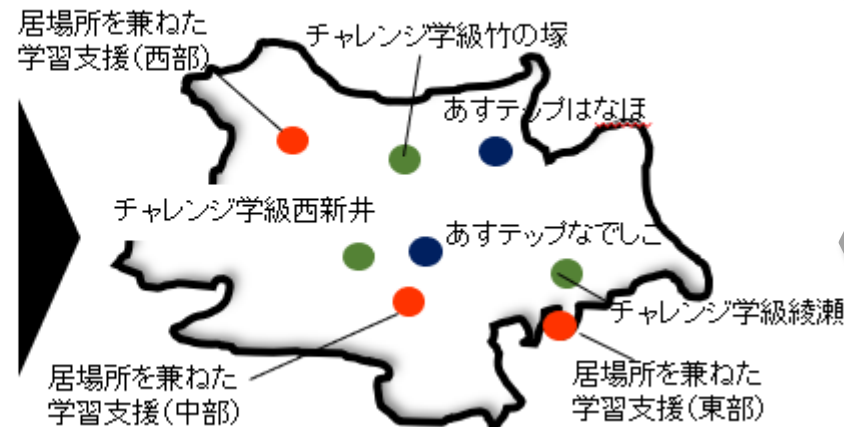
日本語学習ルーム
1箇所
小学校内
令和2年度～

多様な居場所の確保
に福祉施策を活用

平成21年度



令和2年度



不登校特例
私立中学校
（発達支援センター併設）
小学校跡地
令和6年度～

特例課程教室(あすテップ)のカリキュラム

令和2年4月
スタート

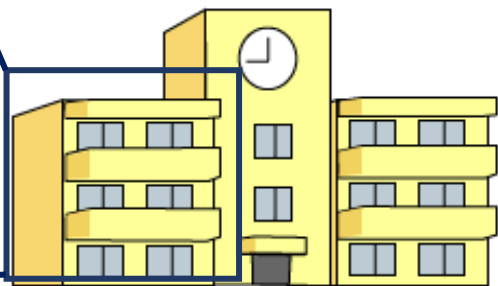
あすテップとは、**校内の一部を活用した不登校支援施設**で「チャレンジ学級」、「居場所を兼ねた学習支援」に次ぐ第3の不登校支援施策

「あすテップ」・・・(校内型適応指導教室)

特徴



通常の学級よりも小規模な教室



特徴1 学校内に設置

学校外にあるチャレンジ学級と異なり、学校内に設置するため、**学校と同じような学習環境**が作れる

- 決められた登校時間
- 給食の提供
- 制服の着用
- 体育館・グラウンドの共用

特徴2 学籍は在籍校のまま

在籍校に籍を置きながら、あすテップに通級します。転校しないため、年度途中の学校復帰も可能

特徴3 柔軟な学習内容

教育課程等は通常の学校に準じながら、ソーシャルスキルトレーニングなど個人の状況に合わせ、柔軟な学習指導が可能

特例課程教室(あすテップ)のカリキュラム

チャレンジ学級 (参考)

チャレンジタイム
教科学習
教科学習
チャレンジタイム
昼食・昼休み
教科学習・教科外活動
チャレンジタイム
教科学習・教科外活動

特例教室

時間	月	火	水	木	金
～ 9:00	登校				
9:00～ 9:30	チャレンジタイム				
9:30～ 10:20	国語	国語	国語	国語	英語
10:30～ 11:20	英語	社会	数学	数学	数学
11:30～ 12:20	理科	英語	音楽	技術・ 家庭	保健体育
12:20～ 13:30	給食・昼休み・清掃				
13:30～ 14:20	道徳	総合	特別活動	SST	個別学習
14:20～ 15:00	チャレンジタイム				
15:00～ 15:30	教科学習・教科外活動				
16:00	最終下校				

朝礼、連絡事項等
(登校準備時間)

基礎学力の定着と向上を図るため、
**国語・数学・英語は
通常学級と同時数**を確保

SST(ソーシャルスキルトレーニング)
で、対人関係や集団活動を通じて、
コミュニケーション能力の向上を図る。

卓球・ゲーム、
一日の反省等

東京みらい中学校—(不登校特例中学校)—
(学びの多様化学校)

- 敷地 旧足立区立千寿第五小学校跡地
(定期借地)
- 設置者 学校法人三幸学園 (一条校)
- 開校 2024年4月
- 併設 飛鳥未来高等学校 (通信制高校)
(予定) 児童発達支援センター
- 足立区の支援⇔足立区の不登校対策
(足立区学校法人の助成に関する条例)

不登校特例校の設置状況(令和5年4月現在)

学校名	開校年度	管理機関	所在地
八王子市立高尾山学園小学部・中学部	平成16年4月開校	八王子市教育委員会	東京都八王子市
京都市立洛風中学校	平成16年10月開校	京都市教育委員会	京都府京都市
星槎中学校	平成17年4月開校	学校法人国際学園	神奈川県横浜市
鹿児島城西高等学校 普通科(ドリームコース)	平成18年4月開校	学校法人日章学園	鹿児島県日置市
東京シューレ葛飾中学校	平成19年4月開校	学校法人東京シューレ学園	東京都葛飾区
京都市立洛友中学校	平成19年4月開校	京都市教育委員会	京都府京都市
NHK学園高等学校	平成20年4月開校	学校法人NHK学園	東京都国立市
星槎名古屋中学校	平成24年4月開校	学校法人国際学園	愛知県名古屋市
星槎もみじ中学校	平成26年4月開校	学校法人国際学園	北海道札幌市
西濃学園中学校	平成29年4月開校	学校法人西濃学園	岐阜県揖斐郡
調布市立第七中学校 はしうち教室	平成30年4月開校	調布市教育委員会	東京都調布市
東京シューレ江戸川小学校	令和2年4月開校	学校法人東京シューレ学園	東京都江戸川区
福生市立福生第一中学校	令和2年4月開校	福生市教育委員会	東京都福生市
星槎高等学校	平成18年4月開校 令和2年4月指定	学校法人国際学園	神奈川県横浜市
岐阜市立草潤中学校	令和3年4月開校	岐阜市教育委員会	岐阜県岐阜市
大田区立御園中学校	令和3年4月開校	大田区教育委員会	東京都大田区
宮城県富谷市立富谷中学校	令和4年4月開校	富谷市教育委員会	宮城県富谷市
大和市立引地台中学校	令和4年4月開校	大和市教育委員会	神奈川県大和市
三豊市立高瀬中学校	令和4年4月開校	三豊市教育委員会	香川県三豊市
世田谷区立世田谷中学校	令和4年4月開校	世田谷区教育委員会	東京都世田谷区
白石市立白石南小学校・白石市立白石南中学校	令和5年4月開校	白石市教育委員会	宮城県白石市
大和郡山市立郡山北小学校 分教室「ASU」	令和5年4月開校	大和郡山市教育委員会	奈良県大和郡山市
ろりぽっぴ学園小学校	令和5年4月開校	学校法人ろりぽっぴ学園	宮城県仙台市

全国学校数(24校)の内訳

- ◎ 公立:14校／私立10校
- ◎ 小学校:5校(併設含む)
- ◎ 中学校:17校(小中併設含む)
- ◎ 高等学校:3校

不登校特例校設置の推進

- ◎ 5年後までに全ての都道府県や
政令指定都市で1校以上設置
- ◎ 将来的には全国で300校設置
中教審「次期教育振興基本計画」答申
(2023年3月)より



東京みらい中学校



ライブラリーラウンジ

下駄箱が無だけでなく、図書館と一体化したエントランス
ワクワクした気持ちで登校できるように工夫されています



アクティブルーム

運動で心と体をリフレッシュできる空間
仲間との繋がりが生まれるきっかけにも



ミュージックルーム

音楽で心通わせる空間
歌や演奏を通して自分の世界を表現できます



オープンスペース

各フロアにくつろげるスペースがあります
教室だけではない“自分の居場所”が見つけれられるはず





カリキュラムの特徴

みらい中は、社会的自立に向けた不登校特例校としての教育課程を編成しています。
年間授業時数を775時間に再編成することで新設科目や行事を充実させ、生徒の興味関心を伸ばしていきます。

一般的な中学校の
年間授業時数
1,015時間
※学校教育法施行規則に定める
標準授業時数



新設科目・行事
の充実
東京みらい中学校の
年間授業時数
775時間

SST

- ▶ 人間関係構築に関する教育
- +
- ▶ キャリア教育

=

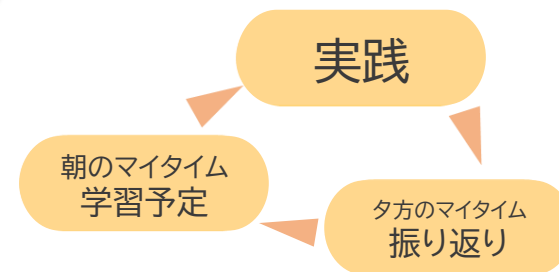
生きる力

協調性を身につける！

マイタイム

朝のマイタイム
→学習予定を立てる

夕方のマイタイム
→学習予定の振り返り



主体的に取り組む
態度を育む！

つながれ！私たち



ご清聴ありがとうございました